

2024年5月10日

各 位

会 社 名 アイサンテクノロジー株式会社 代表者名 代表取締役社長 加藤 淳

(東証スタンダード コード:4667)

問合せ先 取締役経営管理本部長 曽我 泰典

(Tel 052-950-7500)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関して

当社グループは、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関する方針を策定いたしました ので、お知らせいたします。

近年、企業価値向上の一環として、資本コストや株価を意識した経営が唱えられており、当社グループでも、中長期的な経営の取り組みとして重要な位置づけと考えております。新中期経営計画の取り組みにおいても、現状分析と対策を通じて目標達成に取り組んでまいります。

詳細に関しましては、別紙をご覧ください。





資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応について

2024年5月10日 アイサンテクノロジー株式会社







1. 資本コストや株価を意識した経営への取り組み・・・・3

2. 株主還元方針と配当政策 ・・・・10

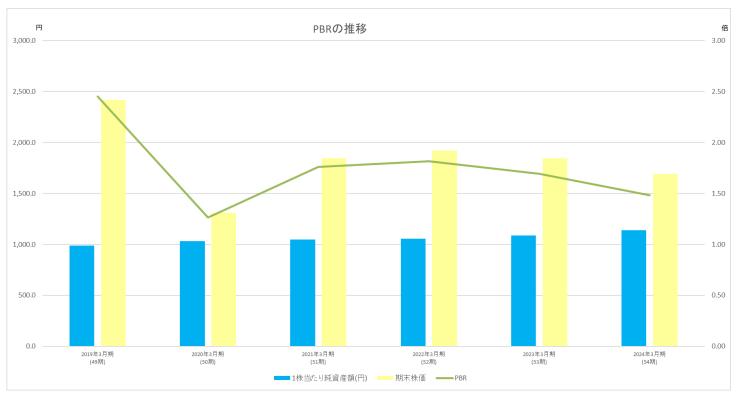
3. 資本政策 ····12

PBRに関する現状認識



- 株価が軟調に推移していることもあり、PBRは2倍超から1.5倍前後に下落している状況
- PBRをROEとPERに分解すると、ROEは、5倍前後で推移、PERは株価の軟調な推移とともにこの数年下落傾向







20.00%

15.00%

10.00%





(53期)

(54期)

ROEに関する現状認識



5.00%

4.50%

4.00%

3.50%

3.00%

2.50%

2.00%

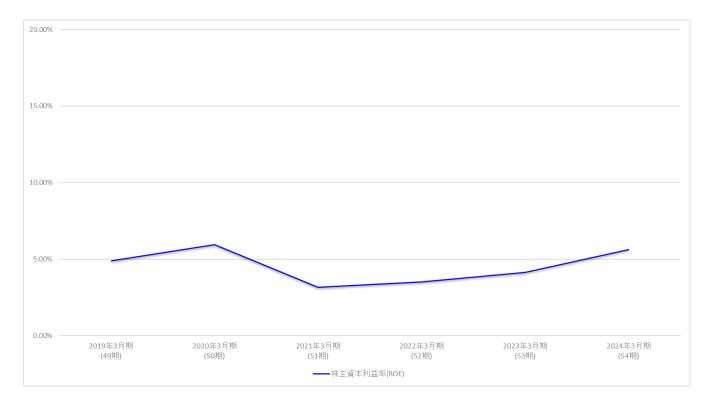
1.50%

1.00%

0.50%

- ROAは2%半ばから4%超まで回復の傾向。当期純利益をどこまで拡大できるかが上昇のポイント。
- 自己資本比率は、70%超を維持する水準で推移している。







百万円





──総資産利益率(ROA)



企業価値向上の一環として、資本コストや株価を意識した経営が唱えられています。当社グループでも、中長期的な経営の取り組みとして重要な位置づけと考えております。

中期経営計画の取り組みとして、「資本コストや株価を意識した経営」に関して、現状分析と対応を通じて目標達成に取り組んでまいります。

資本コスト・株価を意識した経営として中期経営計画で取り組むこと

1. 売上高と営業利益率伸長による収益力の向上

2. ROE、ROA、ROICの改善によるPBRの向上

3. 広報・IRの強化と株主還元強化によるPERの向上



1. 売上高の成長と営業利益率の改善による収益力の向上

24年3月期末 実績 27年3月期末 目標

売上高成長

54億円



80億円

営業利益率 改善

8.2%



10%

目標へのアプローチ

- 収益力の高い、自社製品・サービスを継続的にリリースするため、研究 開発投資と人財投資を継続して行います。
- 付加価値の高いサービスを提供することで他社との差別化を図ります。
- 全国自治体・交通事業者との連携で自動運転社会実装領域での収益獲得によるトップラインの成長を促します。
- 上記の自社製品・サービスの継続的なリリースにより、連動して利益率 の改善に繋がり、結果営業利益改善に繋がります。
- 請負業務に係る生産の内製化推進、効率化を促進することで売上原価の低減を図り、営業利益率の改善を図ります。
- 人財採用後、収益貢献できる人財にスピーディに育成するとともに、リスキリング等を通じてより収益性の高い分野での貢献を促すことで収益に繋げます。

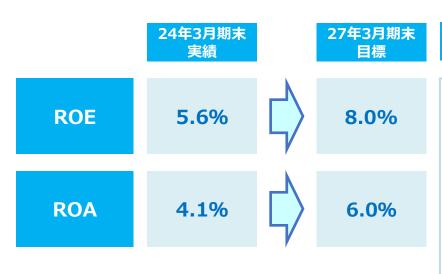
 \Box

売上高:80億円

営業利益:8.5億円



2. ROE、ROA、ROICの改善によるPBRの向上



目標へのアプローチ

- ROEの向上に向け、コア事業における収益力を高め、利益の規模 拡大が最優先事項と考えます。そのために以下の取り組みを行います。
 - ① 前頁の通り売上高の成長、営業利益率の改善に取り組みます。
 - ② 既存事業では体質強化を図り、新製品、サービスを継続的にリ リースすることで稼ぐ力を強化し、持続的成長を目指します。
 - ③ チャレンジ分野では人財、資金を積極的に投入し成長をドライブさせます。
- 当社グループとのシナジーが期待され、必要に応じ成長戦略に資する 企業のM&Aを実施します。
- 経営環境、株式市場の状況に応じ、株主還元策の強化を行うととも に、資産回転率の改善に努めます。



PBR: 2.5倍

ROIC

4.9%



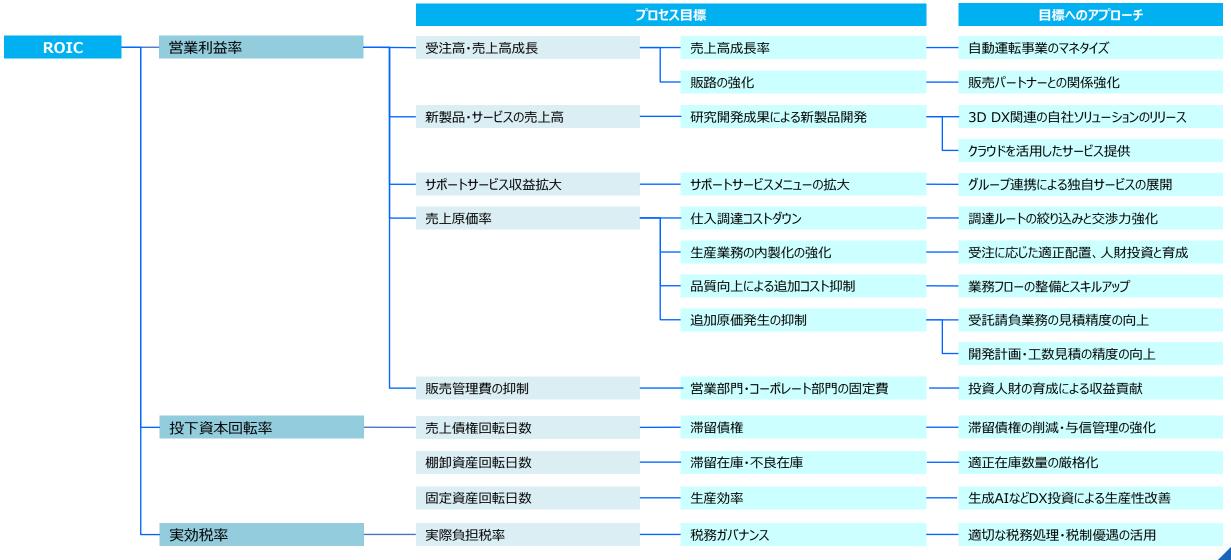
8.0%

次頁のROICツリーに記載の取り組みを行います。

Copyright © 2024 Aisantechnology All Rights Reserved.



2. ROE、ROA、ROICの改善によるPBRの向上





3. 広報・IRの強化と株主還元強化によるPERの向上

24年3月期末 実績 27年3月期末 目標

目標へのアプローチ

PER

27.0倍



35.0倍

【対話・情報発信の強化】

- 株主との対話、情報発信強化を前中期経営計画以上に推進を図っていきます。
- そのために広報・IRに係る部門を早期に立ち上げ、様々な方法での情報発信に 努めてまいります。
- 決算説明会に関して、従来オンライン開催としていましたが、リアル開催と オンライン開催のハイブリッド形式で開催し、直接、投資家の皆様と対話可能な 場をご提供いたします。リアル開催も名古屋を中心に、首都圏地域での開催も 検討してまいります。
- SNS等を活用した情報発信を検討していきます。

【株主還元】

- 連結配当性向30%以上としている還元策について、35%まで引き上げを目指します。
- 持続的、安定した配当を実施することを最優先とし、財政状況に応じ適宜、 自己株式の取得も検討してまいります。

株主還元方針と配当政策



<基本方針>

株主様に対して、当社グループの経営成績に基づいた成果配分を安定的に実施します。

<配当政策>

配当金については、毎期の経営成績、投資計画、内部留保の状況などを勘案し、連結配当性向 35%を目標とし、安定的・継続的な配当を行うよう努めます。

(単位:百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
売上高	6,000	7,200	8,000
当期純利益 ※	221	382	547
配当金(円)	20	25	35
配当総額	109	136	191
配当性向(%)	49.3%	35.7%	35.0%

※会計基準改正に伴い、連結財務諸表においては、「親会社株主に帰属する当期純利益」と記載しております。

株主還元方針と配当政策







当社グループは、資本政策を考えるに際し、株主様共通の利益を目指すとともに、企業価値の向上に資するよう、取締役会において、その必要性、合理性を十分に検討し、適正な手続きを経て決定するとともに、株主の皆様に対して十分な説明を行うことを基本方針としております。

